

～家族経営を主体とした法人経営～

高橋 保一郎、史子、幸大、清夏さん(西条市)

- (保一郎さん) 高橋農産株式会社代表取締役
JA 西条氷見支部麦作部会支部長
1951年生まれ
- (史子さん) 高橋農産株式会社取締役
1955年生まれ
- (幸大さん) 高橋農産株式会社取締役
1981年生まれ
- (清夏さん) 1993年生まれ



☆経営概況☆

平成 26 年に法人化を行い、家族 4 人と常時雇用 4 人、臨時雇用 10 人で経営。
水稻 4.5ha、麦 30ha、キャベツ 5.0ha、その他露地野菜 20a を栽培。

☆ここがポイント☆

■就農の経緯

幸大さんは、幼いころから保一郎さんの農作業のお手伝いをしていました。20歳の時に本格的に就農し、現在では会社の取締役として農業に取り組んでいます。

清夏さんは、前職を退職したことをきっかけに以前から高橋農産でパートとして働いていた友人の紹介で4年前に雇用就農しました。

清夏さんとの出会いをきっかけとして意気投合し、昨年結婚しました。夫婦らしいコンビネーションの良さで幸大さんが機械の操作、清夏さんがその補助を行い、楽しく農業に取り組んでいます。

■特徴的な経営

年間 4.5ha を栽培している水稻は愛媛県育成品種である「ひめの凜」や「にこまる」、「コシヒカリ」など約 10 品種を栽培することで作業をうまく分散させています。また、スーパーL 資金などの制度資金を活用し、農業用ドローンを使った防除や複数の大型機械を使い、作業の省力化・効率化に取り組んでいます。

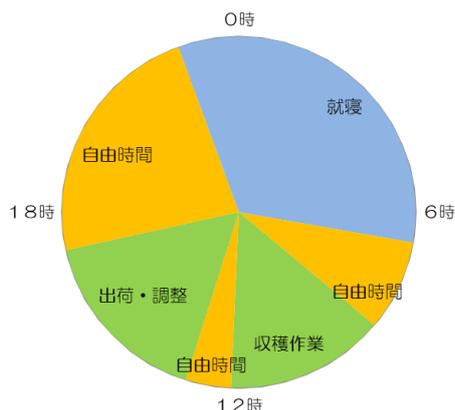


大型コンバインを使った水稻の収穫



ドローンによる農薬の散布

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

冬場は、キャベツの栽培が主であるので、時間があるときは、夫婦でスノーボーにいたり、食事に出かけたりしています。

農繁期は、作業量が膨大となるため、パートさんも含めて作業計画を立て、**効率よく作業を行えるように工夫しています。**

【一週間のライフスタイル（一例）】

	月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 収穫・出荷 →						← 休日 →
【普通期】	← 栽培管理 →						← 休日 →



休日にスノーボー
(幸大さん、清夏さん)



夫婦でゆっくり外食
(保一郎さん、史子さん)

☆これからの夢や目指すもの☆

これからは、家族や会社のみんなと力を合わせて、水稻耕作面積 50ha、売上 1 億円を目指していきます。そのためには、現在注目されている ICT 技術を活用した自動走行トラクターや自動運転アシスト付きのコンバインなどの**最先端技術を積極的に経営の中に取り入れながら**、農業経営の安定、雇用の創出に取り組みたいです。

☆メッセージ☆

農業はしんどいこともありますが、**収穫の喜びなど、嬉しいこともたくさんあります。**農業の維持・発展には、若い世代の就農が必要不可欠です。若い人がいるだけで地域が活性化します。ぜひ西条市で一緒に農業しませんか。私たちもできる限りサポートしますよ。